

番匠免公園ワークショップニュース

グループワークでの意見

計画案などに関する、多くのご意見やアイデアをいただきました。詳細をお伝えします。

全体のゾーニングについて

- 周辺に配慮したゾーニングを検討してほしい。南西側は住宅が立地しているため音等に配慮してほしい。
- くつろぎの空間は、配置を工夫してほしい。

芝生広場について

- お花見ができるようにしてほしい。
- ボール遊びができないようにアンジュレーション(高低差)がほしい。

ちびっ子プールについて

- 夏場は、約120人の利用者がいる。
- 水遊びができる施設であれば、プールにこだわらない。

その他

- シンボルツリーは一本がよい。
- 衛生面から砂場を改善したい。
- 近隣への配慮はもちろん、子ども達が笑顔で過ごせる公園にしたい。

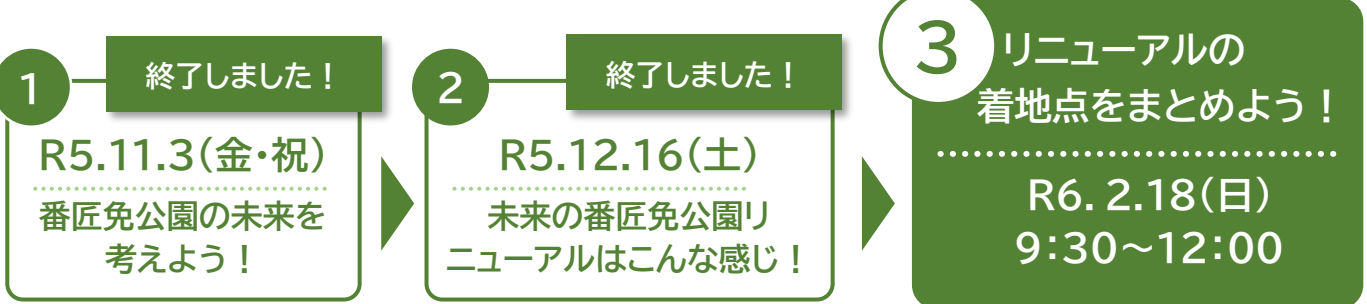
ワークショップでの意見を踏まえ、番匠免公園の整備方針(案)を作成します。

ワークショップスケジュール

- 第1回 2023(令和5)年 11月3日(金・祝) 「番匠免公園の未来を考えよう！」
- 第2回 2023(令和5)年 12月16日(土) 「番匠免公園のリニューアルはこんな感じ！」
- 第3回 2024(令和6)年 2月18日(日) 「リニューアルの着地点をまとめよう！」

次回のテーマは…『リニューアルの着地点をまとめよう！』

第3回のテーマは「リニューアルの着地点をまとめよう！」。これまでに検討してきた内容をもとに事務局で作成した整備方針(案)を提示します。これまで考えてきた利活用イメージを実現化していくためにみなさんと、未来の番匠免公園のリニューアルの着地点を見出して整備方針をまとめましょう。



戸田市公園リニューアル計画

戸田市では、公園の機能と役割を市域全体で整理するとともに、公園が持つ潜在的な魅力を引き出すことを目的に市全体の公園リニューアル計画を策定しました。

番匠免公園は、市内で最も大きい街区公園であり、他の公園・緑地等の誘致圏に重なるという特徴があることから、様々な賑わいのポテンシャルに伸びしろがあると考え、リニューアルのモデル公園に選定しました。

2023.12.16(土)第2回ワークショップ開催しました！

『戸田市公園リニューアル計画(裏面参照)』のモデル公園として実施する番匠免公園のリニューアルに向けて、市民の皆さんと一緒に考えるワークショップ。

第2回ワークショップのテーマは「未来の番匠免公園リニューアルはこんな感じ！」。

第1回の結果を踏まえ、事務局で検討したコンセプト案・計画案をたたき台として、どんな利用がしたいか、そのためにはどんな空間や施設があって、どんな空間構成にしたらよいか、みんなで話し合いました。

第2回ワークショップでは、戸田市菅原文仁市長より挨拶をいただき、未来の番匠免公園について、総勢15名でイメージを膨らませながら活発な議論が行われました。

第1回ワークショップをふまえた整備方針案

詳しくは裏面へ

グループワークの前に、コンセプト案や番匠免公園の計画案について、図面などを用いて説明し、今回の議論のポイントを参加者の皆さんと共有しました。



コンセプト案

今も未来も愛される番匠免公園

利用者のニーズにあった安心・安全な公園

開放的でくつろぐことができる公園

だれでも利用しやすく、みんなが交流し居場所となる公園

番匠免公園の計画案について

計画案



- 特長・ポイント**
- ・芝生広場がフラット
 - ・ちびっ子遊具エリア (遊具の集約)
 - ・ちびっ子プールの移設
 - ・防球ネット



- 特長・ポイント**
- ・芝生広場にアンジュレーションを配置
 - ・遊具等は既存の配置のまま
 - ・防球ネット



- 特長・ポイント**
- ・芝生広場に築山
 - ・築山にスロープ
 - ・ちびっ子遊具エリア (遊具の集約)
 - ・ちびっ子プール廃止、新たな親水エリアを配置
 - ・防球ネット

整備方針案の説明の後、事務局で作成した計画案をもとに各班でグループワークを行いました。その後、各班の共通意見や検討課題として残ったことを、みんな赤字:各班に共通している

グループワークでの意見

計画案などに関する、多くのご意見やアイデアをいただきました。詳細をお伝えします。

全体のゾーニングについて

- ・周辺に配慮したゾーニングを検討してほしい。南西側は住宅が立地しているため音等に配慮してほしい。
- ・くつろぎの空間は、配置を工夫してほしい。

芝生広場について

- ・お花見ができるようにしてほしい。
- ・ボール遊びができないようにアンジュレーション(高低差)がほしい。

ちびっ子プールについて

- ・夏場は、約120人の利用者がいる。
- ・水遊びができる施設であれば、プールにこだわらない。

その他

- ・シンボルツリーは一本がよい。
- ・衛生面から砂場を改善したい。
- ・近隣への配慮はもちろん、子ども達が笑顔で過ごせる公園にしたい。

ゾーニング案

① 築山の撤去を検討

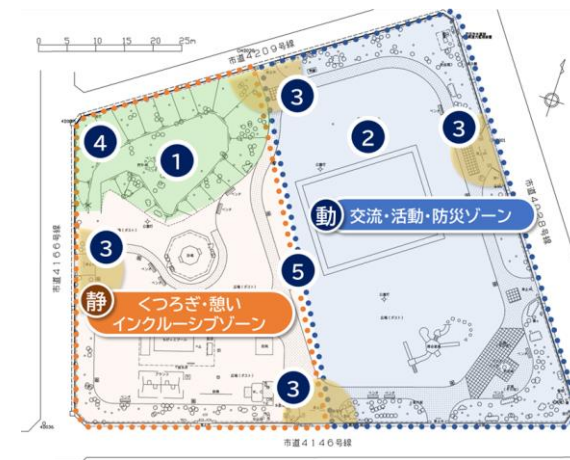
- ・現在、利活用の低い築山の撤去を検討
- ・ある程度緑は残す。

② 利活用空間の確保

- ・多世代で楽しめる利活用空間

③ 出入口の安全性の向上

- ・出入口の改修(たまり場)により安全性の向上



④ 植栽の保全と整理

- ・中低木を活かし(緑陰・景観)、倒木の可能性のある高木を整理する。

⑤ 周辺へ配慮した空間構成の整理

- ・シンボルツリーを中心に『静』と『動』の空間を整理

1班

全体のゾーン分けを見直す

- ・芝生広場はボール遊びがしにくい仕様に(アンジュレーション)

- ・桜の本数は検討
- ・桜は住宅地から離す

遊具は集約する

一部、花壇がほしい

既存の築山は撤去

- ・夜間は閉鎖する
- ・防音対策してほしい

- ・シンボルツリーは1本
- ・落葉対策をしてほしい

- ・ちびっ子プールは残す
- ・噴水は仕様によっては蚊などが発生する

高木は不要

2班

既存の築山は撤去

桜の本数は検討

- ・芝生広場はお花見をするためにフラットまたは低い築山。配置は検討
- ・テーブル・ベンチがほしい

- ・遊具は集約する
- ・シーソーを復活してほしい
- ・衛生上の課題から、砂場ではなく違う遊具に替える

健康遊具がほしい

防球ネット付近の駐輪場は広く

- ・夜間は閉鎖する
- ・エリア内でスポーツ種別のすみ分けが必要

- ・道路側のシンボルツリーはいらない
- ・落葉対策をしてほしい

- ・高木は不要
- ・実のなる樹木は整理する

- ・ちびっ子プールに代わる親水施設がほしい
- ・親水施設は公園の中央に配置

花壇はたくさんほしい